



少しずつ秋の深まりを感じられるようになり、子どもたちが「これ公園で拾ったよ」とどんぐりや木の実などを持ってきてくれたり、園庭に落ちているきれいに色付いた葉を集めたりしています。吹上公園への遠足でも、「どんぐり発見!」「お顔より大きい葉っぱ見付けた」とうれしそうに葉っぱやどんぐりを拾っていました。子どもたちの最近の様子をお知らせします。

【こんなことできるんだよ】

大きい組さんの練習を毎日見学に行ったことで、大きい組さんの踊りが大好きになった子どもたち。どこから音が聞こえてくると、「先生一緒に行こう」と音のするほうへ行き、自分で作ったバチ（広告棒に紙テープを付けたもの）を持ち「やー」と大きな声で掛け声を掛けて、大きい組さんと一緒に踊ることを楽しんでいます。

教えてもらった後に、年少組でも聞けるようにカセットテープを出すと、「太鼓の曲踊りたい!」「ハチのやつやりたい」と教師に言って、教師や友達と踊ったり、踊っている子の周りで曲を聞いたりして楽しんでいます。一人一人の楽しんでいることを教師が受け止めて、一緒に楽しんでいます。

弁当後の園庭が広く使える時間にはトンネルやすのこ、巧技台で作ったサーキットで遊び始めました。教師が「忍者さん、ジャンプ!」「プリキュア、ジャンプ!」と言葉を掛けると、巧技台の上からなりきってジャンプして降りてポーズをきめています。回転しながら着地して自分なりにかっこいいポーズをしたり、手をハートにしたりなど、忍者やプリキュアになりきることを何度も楽しんでいました。

また、園庭の固定遊具で遊ぶことも増えてきました。今まで固定遊具のロープや網をゆっくりと登っていた子どもたちでしたが、速く登れるようになったことや登り棒ができることがうれしくて「先生見てね」「見て見て、こんなことできるんだよ」と教師に言って遊具に登ったり、登り棒を教師の手を借りながら降りてみたりして遊んでいます。教師も“できてうれしい”という気持ちに共感して一緒に遊びながら、体を動かして遊ぶ心地よさや楽しさを感じられるようにしていきたいと思います。

大きい組さんみたいでかっこいいでしょ



年長組の「火炎太鼓」を踊っています。

忍者の修行だ!



トンネル・すのこ・巧技台のサーキット

【いっしょにいるとうれしいね】

友達が作っている物が欲しくなって、教師と一緒に「どうやって作ったの？」と聞いて教えてもらい、同じ物を持ってうれしそうな笑顔で一緒に遊んでいます。また、「一緒にピクニックをしよう」と友達と一緒に作った場の中に、ごちそうやぬいぐるみなどの好きなものを持ち込んで、自分の好きなことをしながら、「今日は〇〇ちゃんのお誕生日よ」「お母さん、買い物行ってくるわね」などと言いながら楽しんでいます。しかし、友達の使っているものを思わず取ってしまったり、入りたい気持ちをうまく言葉で表せずに困ってしまったりする姿も見られます。教師が間に入りお互いの話を聞く中で、「かっこいいから使ってみたかったんだよね」「先生と一緒に『入れて』って言ってみようか」などと教師が気持ちを受け止めて、一緒に自分の思いを友達に伝えていくようにしています。これからも、教師に支えながら気になる友達と触れ合って遊ぶことを楽しめるように支えていきたいと思います。

【どんぐりスープ、できあがり！】

お部屋でどんぐりの歌を歌うのを楽しんでいたりと、吹上公園の遠足でうれしそうにどんぐりを集めたりしていたので、お部屋にも丸い形のどんぐりをたくさん用意しました。すると「あ！まん丸どんぐりだ！」と朝からうれしそうに鍋やボウルに入れてお玉でくるくるかき混ぜて、おまごを始めました。「くんくん、いいにおい！」と料理しているつもりになったり、「どんぐりスープ、できあがり！食べてみて」と、お椀に入れて持ってきてくれたりと、一人一人色々なイメージで楽しんでいます。そうして遊んでいると、ぐるぐるかき混ぜていたどんぐりがゴロンと落ちてしまいました。それを見ていた子が「わあ！どんぐりころころどんぶりこ、だ！」と「♪どんぐりころころ」を口ずさみました。すると、自然と周りにいた子どもたちも一緒に続きを歌い始めました。楽しそうに身振り手振りを付けながら歌ったり、友達と顔を見合わせて笑ったりと、とてもかわいらしい瞬間でした。これから寒くなってくると、園庭にイチョウの葉も落ちてきます。これから秋が深まっていく中で、季節を感じ、秋ならではの自然物に触れながら遊ぶことを楽しめるよう環境を整えていきたいと思います。

もうすぐできるよ！



どんぐりのごちそう作り

♪どんぐりどんぐりこ〜ろころ



どんぐり転がし

☆ 空き箱やロール芯を集めています。

先日お伝えしましたが、これから小さな空き箱やロール芯などの廃材を使っての製作も楽しみたいと思います。やわらかめのロール芯や、子どもたちの扱いやすいサイズの小さめの空き箱（お菓子の箱や、化粧品の箱など）がご家庭にありましたら、いつでも幼稚園にお持ちください。

たくさん箱を使って思うままに製作を楽しめるようにしていきたいと思いますので、ご協力よろしくお願ひします。

